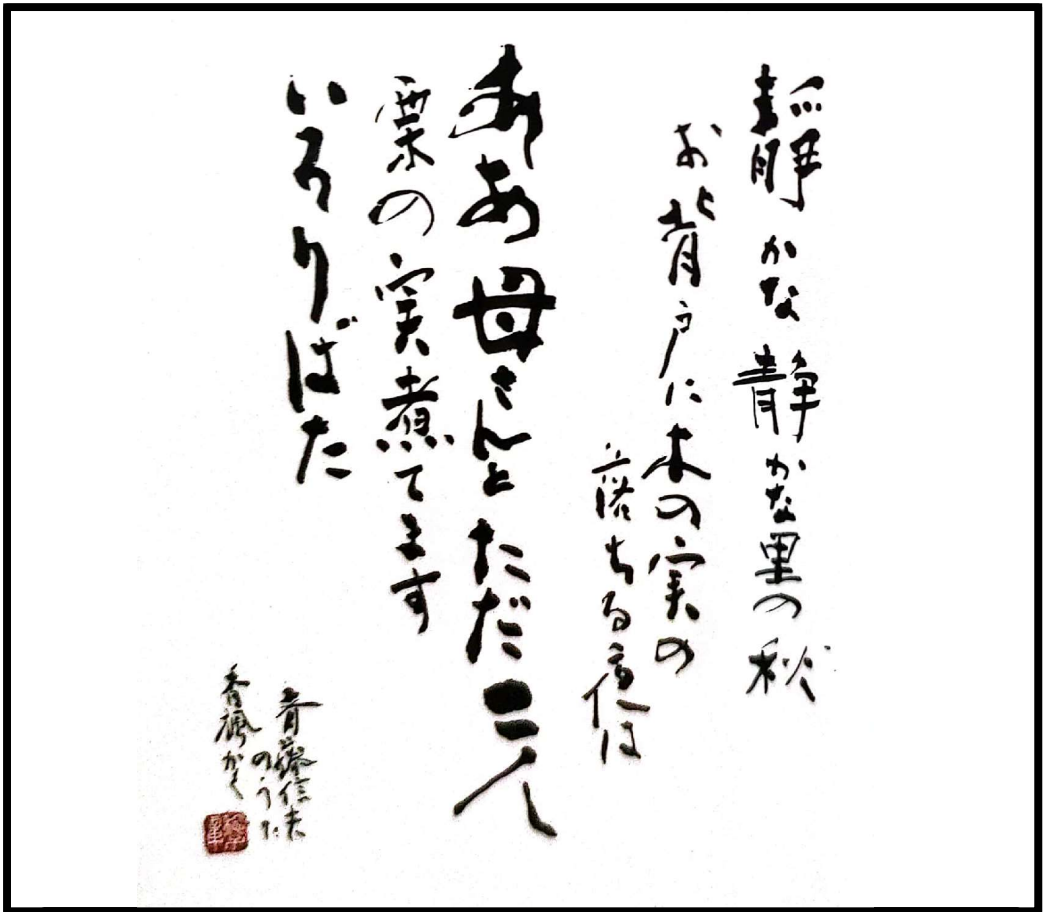


婦人会報

令和四年
立教185年 10月 2022年



天理教婦人会旭日支部

通巻520号



天理教婦人会旭日支部第八十八回総会御案内

一、日時 令和四年十月三十日（日） 午前九時三十分開始

一、場所 旭日大教会

一、次第 てをどりまなび

式典

記念講演 「陽気ぐらしへの道」

講師 天理教一筋分教会長

西村 和久 先生（事情部講師・基礎講座講師）

※体調管理に努め、マスク着用をお願いいたします。

※当日、大教会にお越しいただけの方は、同日時に、各自の場所でおつとめを勤めていただき、心一つに世界のたすかりを祈りましょう。

※当日の様子を、後日、旭日大教会ホームページに配信する予定です。

※会員の皆様のご参加につきましては、各委員部でご判断いただき、十月十五日までに参加者の名簿をご提出下さいますようお願いいたします。

お願い

大教会ではミシンが足りなくて困っています。使わなくなったミシンがございましたらご寄付をお願いいたします。

「おつとめの心構え」

vol.9

今回は「五下り目」
について述べさせ
ていただきます。

お願いします。



●五下り目（慶応三年）【参考文献『みかぐらうたの世界をたづねて』道友社編】

◎一ツ ひろいせかいのうちなれば

たすけるところがまゝあらう

◎二ツ ふしぎなたすけハこのところ

おびや^{※1}はうそのゆるしだす

◎三ツ みづ^{※2}とかみとはおなじこと

こゝろのよごれをあらひきる

一ツ 広い世界のことであるから、救ける所が
あちこちにあるであろう

※1「はうそ」

Ⅱ 疱瘡、天然痘。こどもの病
気の代表とみられていた。

二ツ 不思議なたすけ場所は、この所である。
そこで、をびや（帯屋）許しや疱瘡の許
しを出すのである

※2「みず」

Ⅱ 手振りは流れる川の水。

三ツ 神は流れる水と同じこと、心の汚れを洗
い切る

◎四ツ

よくのないものなけれども
かみのまへにハよくはない

◎五ツ

※³ いつまでしんぐ／＼したとても
やうきづくめであるほどに

◎六ツ

※⁴ むごいこゝろをうちわすれ
やさしきこゝろになりてこい

◎七ツ

※⁵ なんでもなんぎハさゝぬぞへ
たすけいちじよのこのところ



四ツ 欲の無い者は無いけれど、神を前にして、

おのずから欲は無くなる。

※³ 「いつまで」

|| いかほどの意。どんなに長くともとれる。

五ツ いつまで信心しても陽気づくめで通るように

六ツ 酷い心を忘れ去って、やさしい心になるように

※⁴ 「むごい」

|| 人を押さえ付けるような冷酷な心。

七ツ どんなことがあっても決して難儀をさせるよ

うなことはしない。ここは、たすけ一条の元
なるところであるから

※⁵ 「なんぎ」

|| 物質的にも精神的にも不自由し、苦しむこと。

◎ハツ ^{※6} やまとばかりやないほどに

くに〜までへもたすけゆく

◎九ツ こゝはこのよのもとのだげ

めづらしところがあらはれた

◎どうでもしんどくするならば ^{※7}

かうをむすばやないかいな

ハツ しかし、大和ばかりではない。国々どこまでも、たすけに回って行く

※6 「やまと」

|| 大和だけに限ったことではない。国々は世界中と意味が拡がってくる。

九ツ ここはこの世の元のだげ。なんと、めづらしところがあらわれた

ここでどうでも信心を続けていくのなら、講を結ぼうではないか

※7 「どうでも」

|| 手振りが合掌からはじまらず、太鼓の重ね打ちから、勇み立つ印象がある。



※ちげの理と不思議なたすけについて歌われています。おたすけ、救済の元は「ちげ」にあり、自分のたすかりから他者へのたすけ、そしてさらに講への歩みを強調されています。(※講：初期の頃の村々における信者の集まり。講を結んで信仰に励むようにと教えられています。現在の各地の教会の前身となりました。)一ツと二ツ、七ツと八ツは神様からの不思議なたすけという点でつながります。二ツはたすけの道あけとして、三ツから六ツは真のたすかりの道、人間側の心の問題、心遣いや信仰のあり方、九ツからは人間の側に立つての言葉とも、神の側からの言葉とも受け取れます。

第30回 女子青年大会ご案内

旭日女子青年の当日の動き

- 08 : 00 大教会集合
- 08 : 45 大教会出発
- 09 : 15 本部南支所合流
- 10 : 00 式典参加
- 11 : 00 本部にてひのきしん・おつとめ
- 12 : 00 大教会へ移動
- 12 : 30 大教会にて支部のつどい
(昼食・お楽しみ行事)
- 15 : 00 解散

日時 11月27日(日) 午前10時

場所 本部中庭にて

◇参加費 500円 ◇持ち物 ハッピ

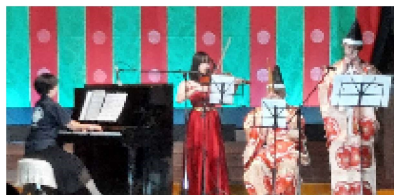
皆様のご参加をお待ちしております♪



月次祭祭典後、女子青年大会のPRを兼ねて、浴衣姿でコーヒーショップをさせていただきました。

旭翠会 観月演奏会

去る9月25日(日)午後6時半より、大教会神殿前にて旭翠会による観月演奏会が、3年ぶりに開演されました。今年は、ヴァイオリンとピアノ演奏もあり、笙、箏、箏とのコラボ演奏、少年会員による童舞等々、大勢の方が楽しい秋の夕べを過ごされました。



十一月例会案内

日時 十一月五日（土）午前九時

場所 旭日大教会

内容 教祖祭

よろづよ八首

（御本部へ移動）

本部西礼拝場にてお願いづとめ

本部ひのきしん（草引き）

お弁当配布



- ※ 帽子、汗拭きタオルが必要な方は、ご持参下さい。
- ※ 雨天の場合は回廊拭きをさせて頂きますので、膝当てをお持ちの方はご持参下さい。
- ※ お弁当は二十四日までに直属教会を通してお申し込み下さい。
- ※ 社会状況および天候により変更になる場合がございます。

十一月例会役割

扨者	山崎 さとえ	坂本 みさ子
賛者	森下 由紀子	松田 よし子
指図方	辻 左知子	

女子青年例会案内

日時 10月30日（日）9時より

場所 旭日大教会
婦人会総会ひのきしん

内容 社会状況により変更になる場合がございます。

※ webブックレット『Blossom-lite-no.17』を配信しました。

表紙絵によせて

「里の秋」は、太平洋戦争直後の混乱期、昭和20年12月の年の瀬に、外地からの引揚者・復員兵を励ますために作られたそうです。「栗の実煮てます 囲炉裏端」という歌詞は、戦地より故郷の親を思う子どもの気持ちをあらわしていると言われています。今も遠くウクライナでは戦争が続いています。内戦の続く国もあります。世界中の人々に穏やかな秋の日が早く訪れることをお祈り申し上げます。

皆手を繋ぎ

「皆手を繋ぎ、これでこそと、
早く繋ぐの理を運ぶよう。」



(おさしづ 明治21年10月12日)

発
行
所

天理市田井庄町二二八
天理教婦人会旭日支部

発
行
者

岡
本
道
子

発
行
日

令
和
四
年
十
月
五
日